活動レポート　周南市観光ボランティアガイドの会

今回は、周南市内で観光ガイド活動を行っているグループをご紹介します。

会長　山崎 勝幸さん

1. 活動内容を教えてください。

歴史・文化等の周南市に関する知識を活かし、観光客や市内の団体等に対する観光ガイドを行っています。鹿野・熊毛・新南陽・徳山・大津島の５班に分かれて活動しており、通常のガイド活動の他には観光ルートの開発や会員同士の研修会等を行っています。

2. 会が発足されたきっかけや経緯を教えてください。

2003 年に２市２町が合併して誕生した周南市ですが、合併当時は旧市町がお互いのことをよく知らないという課題がありました。そこで、旧市町がお互いの良さを理解して１つの市としてまとまり、周南市としての魅力を発信していこうということで、周南市の郷土史研究家の故・小川宣さんが観光ボランティアガイドの会の結成を発案されました。そしてそれに市も賛同し、ガイドを募集したところ 40 人ほどが集まり、2007 年３月に会が発足しました。その後１年間は小川さんや市の職員等による研修会や会員同士の勉強会を行い、2008 年よりガイド活動を始めました。

3. 会員はどのような方で構成されていますか。

中高年が中心で、歴史・文化に関心のある方が多いです。そのため地域の郷土史会と会を兼任されている方も多く、郷土史会で得た知識をガイドの活動に活用されている方もいらっしゃいます。なお、全員に共通しているのは“人の役に立ちたい”という思いがあることです。そのためか、地域の世話役をしていらっしゃる方も多く見られます。男女比率は約半々ですが、最近は女性が増えてきました。

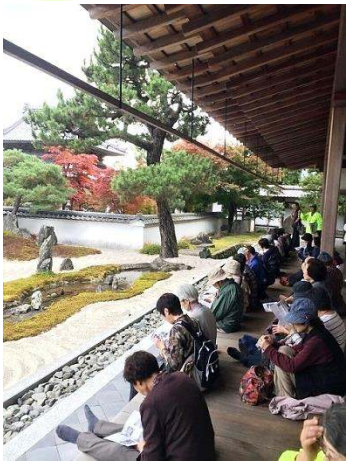
児玉公園にある児玉源太郎の銅像前で児玉源太郎について説明している様子

4. 観光客から人気・評価が高いスポットやコースはありますか。

回天訓練基地跡や回天記念館のある大津島は平和学習の場としてよく利用されており、県外から訪れる方もいらっしゃるほか、高校生が修学旅行のグループ学習で訪れることもあるようです。“平和の大切さを知った”という感想をいただくことが多く、ガイドの意識も高くなっています。

また、鹿野地区の漢陽寺や潮音洞も県外から訪れる方が多く、“きれいで感動した”という感想をよくいただいているようです。

他には、徳山地区の児玉源太郎、まど・みちお、徳山動物園に関するコース、新南陽地区の勝栄寺や永源山公園等が挙げられます。また、最近は工場夜景の人気が高いです。まど・みちお関係のコースでは“市内出身だけど初めて知ることが多かった”という感想をいただくこともあります。



漢陽寺の庭園について説明している様子

5. 活動で心がけていることや、気を付けていることはありますか。

こちらが知っていることが相手に正確に伝わらなければ意味がありません。そのため、説明を間違えないことは勿論ですが、絵や写真、図等を使って案内を工夫し、情報が正確に伝わるよう心がけています。

また、説明の仕方も大切ですが、それ以上に態度が大切だと考えています。ガイドは地域の代表者で、ガイドの態度が地域の印象や評判を決めます。そのため、おもてなしの心を持ち、笑顔と謙虚な態度を常に意識して、お客様に楽しんでいただけるよう、喜んでいただけるよう心がけています。

児玉神社境内にある徳山七士碑の前で
徳山七士について説明している様子

6. これから活動していきたいことや、取り組みたいことはありますか。

これからは体験型観光、外国人観光客の受け入れ、そして子どもに対する郷土学習の３つに力を入れたいと考えています。

まず、体験型観光についてですが、体験型観光とは観光客の方に何かを見てもらうだけでなく実際に体験してもらうもので、周南市では和田地区でのお茶の手揉み体験や、鹿野地区での芋掘り体験等が行われています。数年前には新南陽地区で座禅と写経を体験するツアーを行ったことがありますが、これは非常に人気で募集開始から１週間で定員に達しました。体験型観光は人気があり、全国的にも増加の傾向にあります。そのため、今後は市内の観光資源を再発掘し、新たな体験型観光を開発してゆきたいです。

次に、外国人観光客の受け入れについてですが、現在も外国人観光客の方はたまにいらっしゃいます。しかし、より多くの方に周南市を訪れていただきたいので、海外に周南市の魅力を広く届けられる機会があればよいなと思います。

最後に、子どもに対する郷土学習についてですが、周南市で育った子どもの全員が成人後も周南市に留まるということはありません。だからこそ、子どもたちが周南市を離れたとき、ふるさとのよさを語れるようになればよいと考えています。現在は市内のいくつかの学校でガイドが郷土学習の支援を行っていますが、この範囲を広げ、より多くの子どもたちに周南市の魅力を伝えてゆきたいです。

7. 皆さんに伝えたいことをどうぞ！

お客様から“面白かった”、“楽しかった”、“よくわかった”という喜びの声をいただくとこちらも元気が貰えます。また、自分の知識が人の役に立っていると感じられるときもとても楽しく感じます。自分自身の生きがいに繋がる活動ですので、興味・関心のある方はぜひご一緒に活動しましょう。

◆周南市観光ボランティアガイドの会◆
（事務局：(一財)周南観光コンベンション協会）
TEL 0834-33-8424
メール infoshunan@ccsnet.ne.jp
HP http://www.kanko-shunan.com/

ガイド利用のお申込みも随時受け付けています。詳細は HP をご覧ください！